

新刊紹介

図書館に置いてある最新本の中から
おすすめのをピックアップ。
バラエティーに富んだ
新刊を紹介します。

町立指江図書館 / 電話 0996(88)6500

まとめて一度に！
作りおき節約レシピ

岩崎 啓子 著



安売りの食材をまとめ買いし調理することで、家計はすいぶん助かります。作りおきでもおいしいレシピが満載です。

100かいだてのいえ

いわいとしお 著



縦にページをめくり、下から上へと読んでいく絵本。本当に階段を上っているような気分になります。

町立鷹巣図書館 / 電話 0996(86)1111

長島文芸

明神俳句会

真昼間の火山灰しんと冷素麺
二階堂妙子 淵脇 護
蟻の道昨夜の雨のほめきかな
山寄加代子
夏薊灯台見えて海見えず
山寄加代子
さびしさの金魚でんぐり返るかな
山口 君代
蟻この列尾行っている三才児
筑前 初市
屋台にて飲む焼酎や里ごころ
関 佳代美
手土産は島焼酎の限定版
大堂 早苗

長島短歌会

桜島の煙に翳る街隔つ夫の病舎の空青く澄む
岩下 房代
蜘蛛の巣にかかりて蝶の白き翅風に揺ればはかなくも舞ふ
榎平 頼子
この年の幾度か水の涸れし田に細き鎌もち稗を抜きをり
米尾 和子
いづことも知らぬ憧れの上高地想ひ描きて和紙をちぎりぬ
坂ノ下典子
二十余年暮らせし岐阜の球児らに拍手をおくる
中山タマエ
七十路のわれ
わが受くる点滴を見つついつしかにまどろみてある午前二時すぎ
浜田美代子
潔く征きしにあらじ若き等よ無垢のままなる靈魂かえれ
浜畑 松枝
父母に育てられ来し檜杉らが柱となりて我が家の建つ
林 ヒロ
ぼろぼろに珊瑚崩壊せりといふこの夏庭の菜も枯れ果てつ
本田 幸子
誘はれて孫と連れ立ち一日をコスモスの花に溺れるるなり
松元 睦子
やうやくに波の静まる小浜潟孫ら遊びて去りがたくぬる
町田キクエ

久しぶりの入江は深く潮満ちて向ふの島に友の影
市尾 操
頭つ
風習にしたがひ提灯点しをり亡夫の迎へ火盃蘭盆の朝
岩下 ち江

創生短歌会

仕事から逃げ来し旅の湯の宿に今宵客とし坐っています
竹之内重信
外人が強くて面白くない相撲テレビひとりで見ている日暮
宮元 司
昔なら贅沢なりし卵かけごはんにしよう独りの昼餉
大塚 洋子
ありのままただありのまま生きて来て古りし頭に
野村 益信
歌紡ぎおり
公園の遊具の錆に來し雀ひとの子ひとり居ない真夏日
山下 学
子の家に三日過ぎしその留守に月下美人の花も
石原百合子
終りぬ
お互いに居なけりゃ困る齡となるされど阿吽の息にはなれず
村上 義彦

一般作品

俳句
萩こぼれ里の灯見ゆる山路かな
笹元 政美
丘に來て花火の遠き城下町
桐野 眞実
短歌
心とは大切な事よ生る道忘れてならぬ値打あるもの
町田 末則
さわさわと蓮の葉ゆらす池の亀まだまだ自然残りて豊か
中飯屋辰子